道路行政セミナー　2024 年 9 月号　NO.192　2024 年 9 月 27 日発行

☆高速道路会社の取り組み

◆◇◆自然共生サイト・OECM に登録された
「おおはし里の杜」における生物多様性の取り組みについて◆◇◆
（首都高速道路株式会社）

当社が管理する「おおはし里の杜」が 2024 年 3 月に高速道路会社として初めて環境省の「自然共生サイト」に登録され、同年 8 月には国連環境計画世界自然保全モニタリングセンター（UNEP-WCMC）及び国際自然保護連合（IUCN）が運営する国際データベースに OECM（Other effective area-based conservation measures）として登録されました。

本稿では、首都高速道路の換気所屋上という特殊空間に整備された「おおはし里の杜」の概要と取り組みを紹介します。

☆道路法令Q＆A

◆◇◆「道路の維持・修繕・災害復旧・道路監理員について」◆◇◆
（国土交通省　道路局　路政課）

道路の維持・修繕・災害復旧・道路監理員について解説します。

☆TOPICS

◆◇◆福井－岐阜をつなぐ新たな道路ネットワーク◆◇◆
「一般国道４１７号冠山峠道路」の整備について
（国土交通省　近畿地方整備局　福井河川国道事務所）

福井県と岐阜県を繋ぐ、一般国道４１７号冠山峠道路（７．８ｋｍ）が、令和５年１１月１９日に開通しました。積雪時にも安定した交通が確保され、新たな玄関口となった池田町や揖斐川町の観光施設では賑わいが見られます。また、自治体同士や自治体と企業など、新たな交流も発生しており、今後益々の整備効果が期待できそうです。本稿では、当該道路の整備概要等についてご紹介します。

☆地域における道路行政に関する取組み事例

★名護東道路延伸（本部方面）の計画について★・＊:.。

（沖縄総合事務局　北部国道事務所）

沖縄総合事務局では、名護東道路延伸（本部方面）の計画段階評価手続きを進めています。地域の現状や課題、住民や観光客の意見を踏まえ政策目標を明確化し、対応方針（概略ルート・構造）の決定に向けて取り組みます。今後の計画段階評価手続きの進捗（審議資料、議事概要）については沖縄総合事務局ＨＰで随時報告します。

★岡山県での道路（維持）分野における DX の取組について★°・＊:.

（岡山県　土木部　道路整備課）

岡山県では、定期的なパトロールの実施や計画的な道路斜面の点検及び、落石対策施設等の道路防災工事を実施し、安全な交通の確保に努めております。しかし、近年建設分野においては、専門技術者の高齢化や入職者の減少など、技術者の減少に伴い、維持管理水準や、道路斜面の点検・調査水準の低下も懸念されています。このことから、岡山県の道路分野においても、デジタル技術を活用した業務の変革による効率化等（DX）を進めているところであり、現在の取組内容について紹介します。

★生活道路の交通安全に係る連携施策「ゾーン３０プラス」の取り組みについて★°・＊:.

（津山市　都市建設部　土木課）

津山市では、令和３年９月ゾーン３０区域内にある市立東小学校西側の横断歩道において、「スムース横断歩道（可搬型ハンプ）の実証試験」を行い、その効果解析結果を受けて、令和６年２月に「スムース横断歩道の本設置」、同年３月には岡山県内初となる「ゾーン３０プラス」の整備が完了しました。

☆編集後記

久しぶりに登山に出かけてきました。

この業界に身を置きながら、クルマを有していないため、出かけるときは、もっぱら公

共交通機関を利用しています。今回は、電車と路線バスを利用し、目的の登山口まで向かうことにしました。微妙な空模様であったものの、路線バスは、途中の停留所で待つ乗客を乗せられないほどの超満員でした。相当な重量となった車両にもかかわらず、くねくねとした山道をスイスイと走らせるテクニックが素晴らしかったです。そして、立っている乗客の安心と安全を確保するため、「この先、急カーブが続きます。お近くの手すりにしっかりおつかまりください。」など、要所要所でアナウンスがあり、安心して乗車することができました。自動運転社会の到来を心待ちにしているものの、乗客の安心と安全のための気配りなどができるのだろうか…など、あれこれと考えているうちに登山口に到着です。雲が多かったものの、雨に降られることなく、無事に山頂からの雄大な景色を堪能できました。一方で、曇り空に油断しており、想像以上に日焼けをしてしまいました。

紫外線を浴びると、肌の弾力を保つコラーゲンなどが破壊され、シミやしわができやすく、肌のたるみがおこります。これを光老化というようです。対策としては、日焼けをしないことが鉄則なのですが、十分に日に焼けてしまったので、抗う方法を模索してみました。日焼けをしてしまった肌は、抗酸化作用のある緑黄色野菜（ほうれん草、にんじん、かぼちゃなど）を摂ることで、身体の内側から回復させることができるそうです。最近では、数種類の緑黄色野菜が入った飲料が販売されているので、簡単に取り入れることができそうです。また、破壊されてしまったコラーゲンについては、鶏の軟骨や魚の皮などのコラーゲンを多く含む食事を摂ることが良いそうですが、コラーゲンに関しては、少し複雑なメカニズムがあるようです。

コラーゲンは、人体を構成しているたんぱく質のひとつで、身体を覆う皮膚だけではなく、身体を支える骨、骨と筋肉を結びつける腱などに存在し、身体の中のすべてのたんぱく質のおよそ 1/3 を占めているそうです。各部位ごとにその構造は異なっており、あるレポートによると現在 29 種類が確認されているようです。このようなことから、コラーゲンを摂取しても、すぐに肌や身体のコラーゲンとなるものではなく、体内で合成される時間が必要となることから、単純に、コラーゲンを摂取すればよいというわけではなさそうです。コラーゲンの修復方法は、まだよくわかりませんが、良いとされる食材を日々の食事に取り入れていきたいと思います。また、コラーゲンを含むサプリメント（健康補助食品）は、たくさんの種類が流通しているように見受けられます。どのように取り入れるのが自身の身体とライフサイクルに合うものなのかを吟味しつつ、光老化に抗う方法を引き続き模索していきたいと思います。（U）